東京農業大学第三高等学校　生徒会通信　10月11号（体育祭＆浪漫祭臨時号）

Lumen

発行日
令和3年10月23日(土)
第11号
文責／川路遥斗

令和3年度 東京農業大学第三高等学校

体育祭＆浪漫祭

10月20日（水）・23日（土） 同週開催！

【写真】体育祭の写真です。■上段左／クラスリレーのゴールの瞬間です。■上段中／綱引きの様子です。■上段右／クラスリレーのバトンパスの瞬間です。■下段左／力のバランスを考えて…綱引き。3年1～8組チームが勝利しました。代表の8名です。■下段中／女装して障害物リレー！■下段右／3年生の100m競争に山中先生も出場しましたが、ガチ転びしてしまいました…。

2週間前の週間予報では10/20の降水確率は70％、体育祭が「できるか？できないか？」とても不安な予報であった…。しかし当日…みんなの「熱意が！思いが！気合いが！」通じたのだろう。最高の体育祭日和の中で体育祭を開催することができた。

コロナ禍での体育祭。「感染拡大防止に万全を図れるのか？」「時間をどう短縮するのか？」「体育祭、本当にやっていいのか？」…悩みぬいて実施した体育祭だ。「感染拡大対策が完璧だったか？」と聞かれれば、疑問符も残る。できることは尽くしたが、みんなの高まりは抑えきれない。友を支える応援は、それ以上でもそれ以下でもない。「縮小開催」…現状において仕方がないとしか言えない。そんな中でできる限りの力を発揮してくれた。終わった今でも何が正解は分からないが、一歩前へ踏み込んだ事実は変わらない。全生徒が笑顔で励まし合う。一生懸命長縄を回し続ける。強張った笑顔で躍動する。呼吸をそろえ、心をひとつにする。「正解かはわからない」。でも…「大成功の体育祭であった」ことに確証をもっている。

第1学年　優勝：1年13組　準優勝：1年14組　3位：1年8組
第2学年　優勝：2年14組　準優勝：2年15組　3位：2年12組
第3学年　優勝：3年15組　準優勝：3年　2組　3位：3年16組

令和３年度　東京農業大学第三高等学校　浪漫祭スローガン

不撓不屈

No Roman, No Life

今年度の浪漫祭のスローガンは、生徒会内で決定しました。スローガンに込めた思いなどを紹介します。

■「不撓不屈」は、今年何度も耳に入ってきた「不要不急」という言葉と絡めました。「No Roman, No Life」は、「No Music, No Life：音楽なければ人生ではない」を「浪漫祭」に絡めました。「浪漫：夢や冒険にあこがれを持つこと」から、憧れを持つ気持ちがなければ人生ではないという意味を込めました。

この夏、オリンピックの選手の活躍が全国に感動を呼んだ。しかしながら令和3年10月23日は違う。全国で一番燃え、感動の渦巻いている場所は、「東京農業大学第三高校」にあった。

歌うま、ダンス、バンド…、どれも音楽を使用したパフォーマンスだ。「音」を「楽」しむと書いて「音楽」ではあるが、パフォーマンスには「楽しむ」という言葉だけでは表現できない「強さ」も感じた。どのパフォーマンスにも「魂」を感じた。何を込めて歌ったのだろうか。何を込めてダンスしたのだろうか。何を込めて演奏したのだろうか。「唯々無心で何も考えずに…」「いま隣にいる仲間のために…」「支えてくれている人のために…」。そんな思いが感じられた浪漫祭だった。披露し終わった後のみんなの表情からは「後悔」を感じ取ることができなかった。そこには「達成感」「成就感」「充実感」にあふれる笑顔しかなかった。みんな、本当に「ありがとう！」。

第2面へ続く→

月並みな言葉だけれど…

みんなは最高に「がんばった！」
みんなが盛り上げてくれた…「ありがとう！」

体育祭・浪漫祭の実施にあたって、様々な人の活躍が支えてくれました。■体育祭実行委員／選手決めの際に、クラスでありがとうございました。当日クラスの統括をしてくれてとても助かりました。■放送部／体育祭で競技出場者へ放送をかけたり、競技の実況をしてくれて、体育祭を盛り上げてくれました。■パソコン部／浪漫祭のライブ配信を手伝ってもらいました。パソコン部のおかげでYouTube 配信をスムーズに行うことができました。■野球部／体育祭の荷物搬入や準備を手伝ってくれてありがとうございました。■バスケ部／体育館のシート張りを手伝ってくれてありがとうございました。■手前味噌にはなってしまうが、生徒会役員も体育祭・浪漫祭の企画・準備・運営をしてくれて、本当にありがとうございました。

勝敗より大切なものがある
「やったか」「やらないか」だ！

みんなひとつに！跳べ！跳べ！跳べ！… 全校長縄跳び

走って、走って、走り疲れた… 学級対抗リレー

ころんだり、よけたり… 障害物競走

力のバランスを考えて… 綱引き

体育祭には先生方のアツい眼がありました

最高の体育祭するために運営・準備をしてくれた先生方の眼。心を鬼にして指導をする先生方の眼。生徒を信じ続けてくれた先生方の眼。そこには、たくさんのアツい眼がありました。